

令和5年度 平川市大雨・土砂災害防災訓練実施要項

1 訓練目的

平川市地域防災計画に基づき、昨今の集中豪雨や線状降水帯の発生による洪水や土砂災害に備え各種訓練を行うことで、災害発生時に適切な行動をとることや防災関係機関・団体との連携強化を図ることを目的とする。

2 実施日時、場所

日時：令和5年8月27日（日）9時から11時

場所：市役所本庁舎、ひらかわドリームアリーナ、平川河川広場

3 訓練参加機関

平川市：災害対策本部員、総務課、建設課、避難所運営リーダー職員

関係機関：平川消防署、消防団、自主防災組織、平川市建設協会、アジア航測株式会社、RAB青森放送

4 訓練想定

津軽地方で8月26日14時より断続的に雨が降り続き、大雨注意報が発表され、初期の警戒態勢をとるため、災害警戒本部を設置した。災害警戒本部では大雨による河川の氾濫に備え、消防団に土のうの作成を指示し、警報が発表された場合の体制を確認した。

8月27日8時50分には大雨・洪水警報が発表され、8時55分には土砂災害警戒情報が発表されたため、土砂災害・河川の増水氾濫に最大級の警戒をとるため、災害対策本部を設置した。

青森气象台によると平川は3時間後には氾濫危険水位に到達する予測となっており、青森県土砂災害警戒情報システムの土砂災害警戒判定メッシュ情報によると新屋、尾崎、広船、唐竹、沖館、金屋地区で警戒レベル4相当の非常に危険な状態となっている。

そのため、平川沿いの浸水想定区域内の地区に警戒レベル3の高齢者等避難、土砂災害の危険区域の地区には警戒レベル4の避難指示を発令し、ひらかわドリームアリーナに避難所を開設した。

また、尾崎地区において、土砂災害発生により車両が巻き込まれ、平川消防署、消防団が対応に当たっている状況である。

5 訓練項目

項目	内容
(1) 災害警戒本部、災害対策本部 設置運営訓練	①気象・警戒対象地区等の分析 ②職員の配備態勢の検討 ③避難指示等の検討
(2) 水害応急対応訓練	①消防団による土のう作成
(3) 避難情報伝達訓練	①防災無線による避難指示の放送 ②防災情報メールの配信
(4) 災害情報収集・伝達訓練	①ドローンやスマホで本部と災害現場を中継
(5) 避難対応訓練	①避難所開設 ②避難者受入
(6) 救助・救出訓練	①土砂被害を受けた車両からの救出 ②建設協会による土砂撤去

6 共通事項

- (1) 服装は作業着など動きやすい服装とする。
- (2) 雨天時は水害応急対応訓練、救助・救出訓練を中止し、その他の訓練は平川市役所本庁舎及びドリームアリーナ内で行う。
- (3) 災害が発生した場合は中止とする。
- (4) 訓練中止の場合は速やかに関係機関連絡担当者に連絡する。